

V.B.6 欠乏診断に用いられる XA (キサンソレン酸) Index についての検討
 愛知医大 生化学 柴田幸雄 稲沢女子短大 岩田章子

目的: Lepkowsky によつて見出された V.B.6 欠乏の診断に用いられる XA Index について検討に加え、代謝学的にみてその代謝のみだれを深く追求する、これが本欠乏症の診断に有意義であり、この実験を通してさらに V.B.6 の栄養生化学的意義を明らかにすることのできたのでここに報告する。

方法: 体重 150g 程度の雄雄ウイスター系白鼠を用い、その肝灌流を行つて、トリプトファン (Trp) の代謝の流れを高速液体クロマトグラフィー法を用いて実験を行つた、Trp 中間代謝産物バクサーニの動きと調べ、その臨床病理学的意義と栄養生化学的意義の追求を行つた。

結果: ① 短時間肝灌流を行つた場合は Trp から代謝される重要な代謝産物はキヌレン (Ky) であつた。

② この 1 の実験結果は、V.B.6 欠乏白鼠におけるトリプトファンレヒロラーゼ活性の上昇結果と一致する。

③ 短時間肝灌流では XA の証明を行つたことはできなかった。

④ 長時間肝灌流で酸素の供給と注意する XA の証明を行つたことはできる。

⑤ 自然状態に数日的解析を行つて V.B.6 欠乏で XA の排泄は増加する (柴田・大塚)

以上を通じて XA のみならず Ky 等の分析を行つた事から V.B.6 欠乏症診断に重要であることとみとめ、又蛋白質、アミノ酸代謝に付する V.B.6 の重要性は、糖尿病 (とくに境界型)、動脈硬化症に対する V.B.6 の重要性を証明と知ることのできた。